

平成24年 LCA国際小学校 学校自己評価

学校教育目標	重点目標(中・長期目標)	総合評価						
◆社会の一員として個性を生かして、社会に貢献できる人間の育成 ◆世界を舞台に活躍できる人間の育成 ◆生きることの素晴らしさを知った人間の育成	英語の教育センターとしての機能を将来持たせるための準備を始める	この年度から新たな目標設定にした。組織化を徹底することで、教職員それぞれの動きが良くなり、学校全体が画期づいた。						
	今年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策	
	学校の組織化（効率の良い校務分掌の作成、職員がチームとして働く）	低・高それぞれの校舎に教務主任を配置した。また校長・副校長教務主任で構成する企画会議を設置したことで、かなり組織化が進んだ。		○				教務主任を中心とした、事務職の組織化が課題。
	英語・体育を重点教科とし、指導法の見直し指導上の成果を上げる	外国人教師に日本型の体育を身につけてもらうため、日本人の体育免許を持つ教師を追加で配置し週1回は日本人と外国人の2名で体育を指導した。		○				外国人教師のみで日本型の体育指導ができるようになることが課題。

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
教育活動	教育課程	学習指導要領に準じながら英語力を伸ばすカリキュラム作り	児童会・委員会活動の定着	児童会・委員会が良く機能し始めた。		○			話し合いを英語で活発にできるようになることが課題。
	教科指導	体育:運動量を増やす。カリキュラムに変化を持たせ、飽きさせない	日本の体育指導の良い点を取り入れた運動量を多くした指導法の確立	日本の体育の良い点はかなり取り入れられた。		○			カリキュラムに変化を持たせ、より楽しい体育にすることが課題。
		英語:①日本人に合ったカリキュラムの作成②LCA独自の教材の作成③英語での表現力を上げる	①年間指導計画を冊子の形にする②教材づくりに向けワークシートなどを集める③英語で話す、ディスカッションする、スピーチをする機会を増やす	英語教育コーディネーターを配置し、プログラム、教材づくりに力を入れた。また、低・高学年で、それぞれスピーチコンテストを実施した。		○			次年度は英語でのディベートやディスカッションが課題。
		作文:国語科の教師や保護者が「100時日記」の方法で作文を書かせることができる	100時日記の方法で書かれて作文の文集をつくる	低学年で「見たこと作文」の文集を作成した。		○			継続的に文集を発行していきたい。
	児童指導	「自分の気持ちを、相手にきちんと伝える。相手の気持ちを受け取る。」ことを大切にした児童指導	児童が学校で起きたトラブルなどで、気持ちが曇ったまま帰宅することが無いよう取り組めたか、また、家庭との連絡やその後のフォローは適切にできたか	ディレクターや教務主任、養護教諭のレベルまで、LCA流の児童指導ができるようになってきた。		○			担任もLCA流の児童指導ができるようになることが課題。
学校運営	地域との連携	地域と連携し、社会科見学を実施する。また、実際的な話を聞くために、地元の方を講師として招く	地域の方との連携で効果的な指導ができたか	夏休みにジョブフェアというイベントを組み、地域の方の話を伺う機会とすることができた。		○			ジョブフェアはとても良い企画であったので、継続発展させていきたい。
	研修	LCAの教育理念を理解するための研修 新しい学力観に基づいた授業の研修 自立した子を育てるための野外活動研修	研修は適切に行われたか、また、効果はあったのか	教育理念や授業研修は適切に行なえた。また、リモートスタディーと名付けた1泊の野外研修を低学年で実施し始めた。		○			研修を続けることで、より効果的な指導ができるようにしたい。